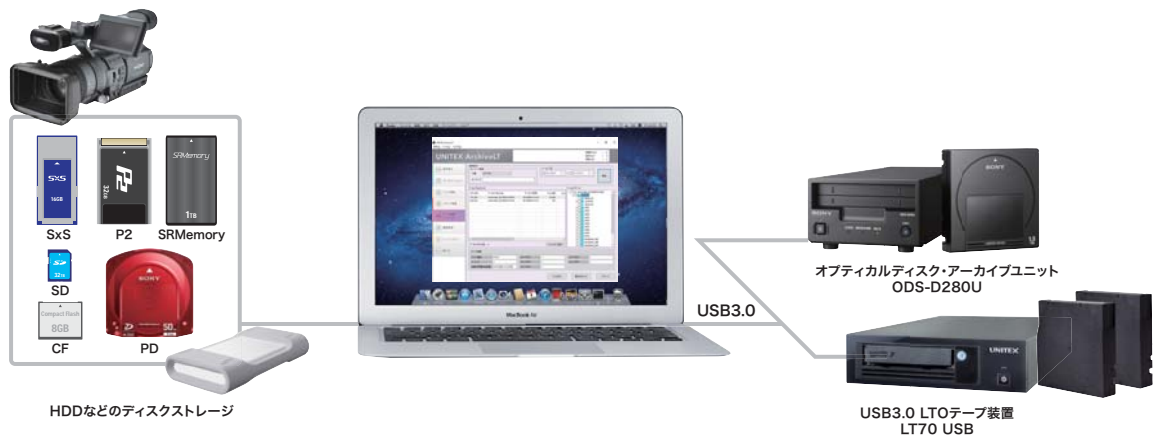


UNITEX ArchiveLT のご紹介

LTOおよびオプティカルディスク・アーカイブへの高速アーカイブに
対応したアーカイブソリューション



**カートリッジタイプで堅牢、低コストで大容量、
高速転送速度のバックアップ / アーカイブ媒体**

● LTOとオプティカルディスク・アーカイブ

LTOは2000年に発売され、これまでバックアップ用途として広く利用されてきました。また、LTO-5から導入されたLTFS機能により、テープ上に保存されたファイルの確認や操作が容易となったことにより、アーカイブ用途としても導入が進んでいます。現在発売されている第8世代では、容量が非圧縮で12TBと大容量で、ロードマップでは第12世代まで示されています。オプティカルディスク・アーカイブは2013年に発売された、ストレージとしては比較的新しい媒体です。現在発売されている第2世代では、容量が3.3TBと大きく進歩し、バックアップおよびアーカイブ媒体としての注目が集まっています。

● 2つの異なるテクノロジーによるリスク分散

UNITEX ArchiveLTなど弊社のソフトウェアでは、LTOだけではなくHDDやオプティカルディスク・アーカイブへの同時アーカイブおよびベリファイが可能です。2つの異なるテクノロジーで媒体を作成することで、リスク分散へつながります。リスクには、外的環境変化によって媒体が破損してしまうリスクに加え、再生するためのドライブが販売終了になってしまうなどのライフサイクルに対するリスクなども想定されます。テクノロジーが異なることにより、上記リスクに直面した場合にもダメージは片側分ですむことが、長期保存を行っていく上で大きなアドバンテージとなります。

特長

● アーカイブデータのオフライン管理

LTOアーカイブソフトウェアのUNITEX ArchiveLTと組み合わせることにより、長期保管が必要なアーカイブデータをオフライン管理することが可能です。また、アーカイブ時に付加したメタデータからキーワード検索が可能で、どのメディアにどのようなデータが入っているか確認可能です。

● 整合性チェック

アーカイブ時、アーカイブデータのハッシュ値を自動的に計算し、管理情報として記録します。整合性チェック機能では、アーカイブデータからハッシュ値を再計算し、管理情報のハッシュ値と突合することによりアーカイブデータに変更がないことを確認することが可能です。

● メディアスキャン

他社製ソフトウェアにて作成されたLTOやオプティカルディスク・アーカイブをスキャンすることにより、LTOアーカイブソフトウェアのUNITEX ArchiveLTで一元管理することが可能です。

● 自動アーカイブ

スケジュールや指定容量への到達など、自動的にアーカイブする機能を搭載しています。日々蓄積していく情報資産を、特別なアーカイブ手順を踏むことなく、自動的にアーカイブすることが可能です。

● LTOテープの暗号化

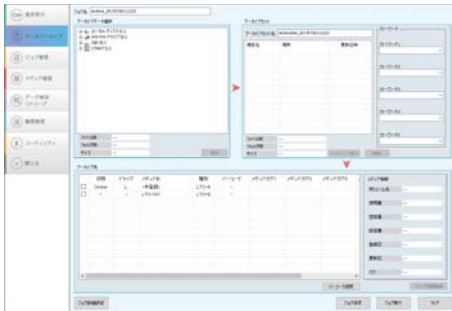
万一の場合に備え、LTOテープを暗号化することが可能です。暗号化したLTOテープは、別のシステムで読み込むことができません。

UNITEX ArchiveLTのご紹介

画面操作

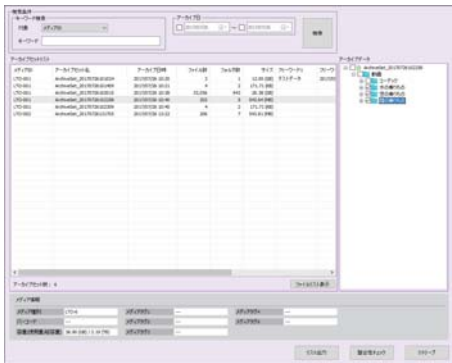
●アーカイブ

複数同時アーカイブが可能です。ジョブごとにメタデータを付加することができ、メタデータをキーワードとしたオフライン検索が可能です。



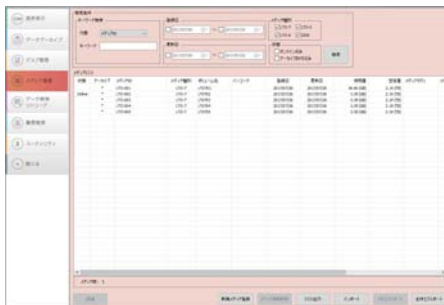
●検索・リトリブ・整合性チェック

メタデータやファイル名などをキーワードとして、アーカイブデータがどのメディアに入っているか検索可能です。検索結果を元に、アーカイブデータのリトリブやハッシュ値による整合性チェックが可能です。



●メディアスキャン・データ移行

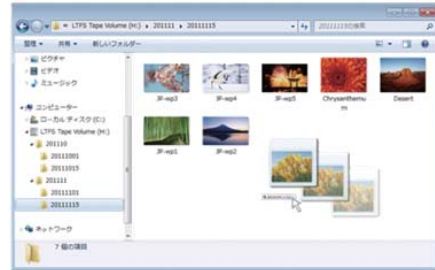
他社製ソフトウェアにて作成されたLTOや光学ディスク・アーカイブをスキャンすることにより、UNITEX ArchiveLTで一元的に管理することが可能です。これらの管理情報はエクスポートすることが可能なため、他のシステムで利用することも可能です。



LTO - LTFS (Linear Tape File System)

●標準規格化されたオープンファイルシステム

ディスク上のファイルと同様の容易なデータ・アクセスと管理をLTOテープ上で実現。ドラッグ&ドロップなどの、一般的なファイル/フォルダ操作で簡単にLTOテープの読み書きが可能。



ドラッグ&ドロップでのファイル書き込み

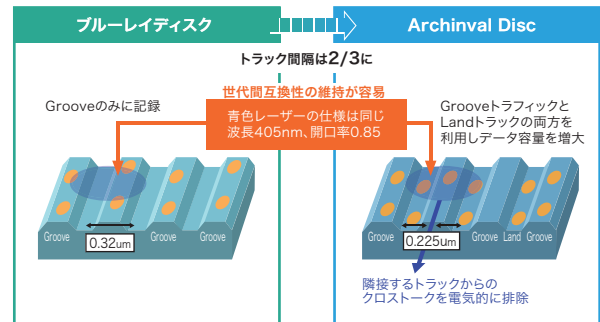
●異なるOS間のデータ交換に対応

Windows, Mac OS X, Linuxの各OSに対応し、プラットフォームを意識することなく、異なるOS間でデータを受け渡すことが可能。

光学ディスク・アーカイブ

●ソニー株式会社とパナソニック株式会社が策定した、業務用次世代光ディスク

データの読み書きはブルーレイディスクで利用されている青色レーザーの仕様と同じであり、特に下位互換性を高く保つことができるため、データの長期運用に適している。



導入提案例

●アーカイブが必要な現場

- 貴重な瞬間や、監視カメラなどの班員が移った瞬間など、取り直しの聞かないデータの保存。
- 金融業界など、法令で長期保存が義務づけられているデータの保管。
- センサーデータなど、日々蓄積されていくデータの退避。